



暮らしの情報ボックス

税務住民課総合収納対策室
税金は私たちの暮らしを支える貴重な財源です

町では、みなさんが快適で健康な暮らしができるよう、魅力あるまちづくりを推進してまいります。そのためには多くの費用も必要になり、その自主財源として最も根幹となるのが「税金」です。

町税(町道民税・固定資産税)の4期分の納期限は1月31日(水)です。

納付が遅れますと、督促状や催告状が送られ、また、延滞金が増加される場合もありますので注意してください。

お申し込み 1月8日(月)までに真鍋宅へ(☎82 2426)

歯科検診・フッ素塗布のお知らせ
お子さんの歯の状態はいかがでしょう?

希望者は、町内の歯科医を予約して受診して下さい。受診費用については町から1人1回につき500円の助成を行います。

東川歯科 ☎82 3308
栄歯科 ☎82 4331

対象 1歳~6歳(就学前)
内容 歯科検診・フッ素塗布
持ち物 保険証・母子手帳・印

財産を調査し、差押をする場合もあります。特別な事情により、納期限までに納付することが困難な場合には、税務住民課総合収納対策室(☎82 2111)内線129・145)までご連絡ください。

納付には便利な口座振替を町税の口座振替については、J A 東川、郵便局、北川信用組合、北海道銀行、北洋銀行、北陸銀行の各支店(一部取扱いのできない支店もあります)から口座振替をご利用いただけます。

口座振替の手続きについては、次の金融機関等で取り扱っています。
(口座振替手続き窓口)
役場税務住民課、J A 東川、北川信用組合東川支店、北海道銀行豊岡支店、北洋銀行旭川中央支店、北陸銀行旭川支店、東川町内の各郵便局

預貯金口座振替依頼書が手続き窓口にありますので、納付書、預貯金通帳、銀行印を持参のうえ、納期限15日前までに手続き願います。(郵便局は1ヵ月前までに手続きが必要になります。)

休日・夜間の納付窓口(納付相談)を実施します
長引く不況の影響から、家計に厳しい状況が続いています

そこで、日中納付できない方のために、次のとおり休日・夜間の納付窓口、納付相談窓口を開設しますので、納期限内での納付をお願いします。

当日は、町税(町道民税、軽自動車税、固定資産税)の他、国民健康保険料、介護保険料、公営住宅使用料、下水道使用料、保育料等についても納付や納付相談ができますので、ご利用ください。なお、残念ながら納付意識や納付のない方には、滞納処分(給料、不動産、銀行預金等の差押や公売等)または強制執行を実施する場合もありますので、ご注意ください。

実施日 1月26日(金)・28日(日)・29日(月)
時間 1月26日・29日 午後5時~午後8時
1月28日 午前9時~午後5時
場所 役場税務住民課(後場庁舎1階4番窓口)

社協通信
社会福祉協議会

温かい善意
ありがとうございます
11月15日から12月15日までに社会福祉事業にご寄付をいただきました方は、次のとおりです。

- 西町3丁目 原 ヨシ子様
10区 小谷 正様
東町3丁目 鈴木 英機様
27区 稲川 昭様
2区 小川 玉子様
5南区 白井 陽子様
6東区 稲場 好永様

今月のくらしの相談日のご案内
町民のみなさんの困っていることなど、相談日を設けて毎月1回第3木曜日午後1時30分から午後4時まで社協相談室で相談に応じています。

1月18日 久保 ミチ子
保健だより
おやこ食育教室のお知らせ(食生活改善協議会)
大人も子どもも食事は大切です。心と体の健康を守る食習慣

町民まつり

新年あけましておめでとうございます
いよいよ、皆様お待ちかねのイベント「ひがしかわ氷まつり」が、1月20日(土)~22日(月)まで開催されます。道草館から特設会場まで続く華やかなイルミネーション、冬の夜空を彩る花火はもちろん、子供達に大人気のチューブ滑り、雪上ゲーム、氷グラス作り体験等、内容盛りだくさんです。



もっくるニュース

ごみ減量化情報誌
もっくるニュース vol.8
発行 税務住民課
環境衛生

冬季間は、段ボールコンポストにチャレンジ!!

段ボールを使うことで少ない費用で、冬季間に室内で生ゴミを堆肥化することができます。

段ボールコンポストの作り方についてご紹介しますので、チャレンジしてみませんか。

★用具と基材を準備しましょう

- 容器
・段ボール箱(縦30cm x 横45cm x 高さ30cm 程度... 10kgのみかん箱程度)
・補強等用段ボール箱

- 基材
・ピートモス(土壌改良剤)
・もみがらくん炭(土壌改良剤)

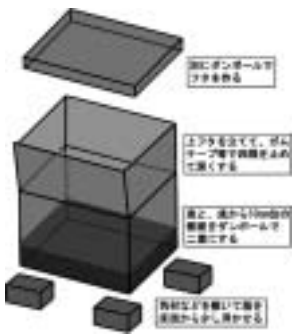
- 道具
・シャベル、ゴム手袋(混ぜるときに使用)

- ・はかり(投入する生ゴミの計量用... 自宅にあれば)
・角材、積み木など4つ(箱を浮かせるために使用)

- ・ガムテープ
★容器を作り、生ごみを混ぜましょう

- ・段ボールの底の隙間と取っ手の部分はすべてテープでふさぐ。
・箱の底と底から10cm程度は、補強のために内側からも一枚段ボールを貼り重ねると長持ちする。

- ・基材のピートモス15ℓともみがらくん炭10ℓ(3対2)の割合で箱に入れ、よくかき混ぜる。
・温度が15度以上の場所で、箱の下に角材などを置き、床面から5cm程度浮かせる。



- 【注意事項】
・1日に投入するゴミの量は平均500g程度(三角コーナー1杯程度が目安)とする。投入量が多い場合は、1日空けるようにする。
・生ゴミを入れるたびに全体的によくかき混ぜ、空気を入れるようにする。また、生ゴミを投入しなくても1日1回は混ぜること。
・全面から分解による水分が発生するが、ビニール等で覆わないこと。

- 【温度】
・2週間程度で微生物の活動が活発になり、温度が上昇してくる。温度が上がらない場合は、米ぬかや使用済み天ぷら油を入れると温度が上昇し分解が進む。

- 【臭い】
・無臭ではなく、軽いカビ臭や腐葉土のような臭いがする。生ゴミが多かったり、よくかき混ぜていないときは臭いが出ることがあります。
・魚の内臓や生ゴミの入れすぎにより臭いが出たときは、基材を加えよくかき混ぜ、水分調整をする。

- 【虫など】
・暖かくなると小バエが発生しやすくなるので、必ず蓋をし、蓋の上に新聞紙などを置く。
・虫の発生を抑えるためには、米ぬかなどを入れてよくかき混ぜ、基材の温度を上げる。

- 【使用期間】
・1箱で3ヶ月間程度使用できる。
・基材の塊が多くなったり、サラサラでなくなったら生ゴミの投入を止め、1週間程度かき混ぜ続ける。
・その後、土と混ぜ、1~2ヶ月ほど寝かせることにより堆肥として使用できる。